

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No. 2 - 4)

<b>件名</b>	エンドピース酸洗浄槽の不溶解残渣回収系からの漏えい						
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: エンドピース酸洗浄槽</p> <p>(2) 発生の状況 エンドピース酸洗浄槽の運転停止前の液抜き時</p> <p>(3) 概要 エンドピース酸洗浄槽のスチームジェットからの漏えい</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な漏えいの発生が予想される。</p>						
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼働しているエンドピース酸洗浄槽、スチームジェットでの事象及び前処理建屋換気設備が稼働している室内での遠隔保守システム(MERC)を用いたスチームジェットの復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> スチームジェットの機能不良によりエンドピース酸洗浄槽の運転が支障を受けるが、スチームジェットによる液移送が困難になっても、運転停止前の洗浄液の抜き出し時に使用するものであり、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> スチームジェットのノズル部交換作業は放射性物質に関連した作業ではなく、また、セル外からのMERCを用いた遠隔作業なので、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> スチームジェットの作動性能が得られず洗浄液の排出ができないため当該機器の運転に影響が生じるが、予備のスチームジェットに交換して運転を継続するので他工程への影響は生じない。</p>						
<b>対応の概要</b>	<p>(1) スチームジェットからの漏えいであることを確認する。</p> <p>(2) 定められたスチームジェット保守手順に従い、遠隔保守システム(MERC)を用いてスチームジェットのノズルの交換、保守を行う。</p> <p>(3) 保守交換終了後、作動試験を行い、異常がないことが確認された後、定められた操作手順に従って液抜きを再開する。</p>						
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)						
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル <span style="font-size: 1.2em;">0</span> 以下 1 2 3 4 5 6 7                  (レベル2以下は工場外への影響はない)             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table> <p style="font-size: 0.8em;">                 放射性物質の外部放出 工場外への影響                  放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響                  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>                  運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化             </p>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル <span style="font-size: 1.2em;">0</span> 以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない)	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル <span style="font-size: 1.2em;">0</span> 以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない)						
(b) 運転系統を切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							

